

## 扶桑町地域包括支援センターコラム

## 地域の高齢者相談の窓口をご存知ですか？

「地域の集まりに参加したいけど、どこに聞いたらいいのか分からない」「自分の老後や大事な人たちの介護について知りたい」「認知症について相談したいけど窓口が分からない」「高齢の方が虐待を受けている様子だけど、誰に相談したらいいのか分からない」

扶桑町地域包括支援センターは扶桑町在住の65歳以上の高齢者を支える相談機関です。高齢者の自立した生活を支援する為の健康相談や出前講座、介護方法、施設入所についての相談、虐待、消費者被害についての相談の窓口となります。また認知症についてのご相談も地域包括支援センターにご連絡ください。些細なことでも構いません。生活に不安があったり、認知症かな？と思ったら下記連絡先までお問い合わせください。



▼問い合わせ 扶桑町地域包括支援センター（扶桑町総合福祉センター1F）  
☎（91）1171 月～金曜日（祝日を除く）午前8時30分～午後5時15分

## 丹羽消防署

## 119番

## 子どもの事故を防止しましょう

## 《日常生活における事故》

子どもは大人に比べて危険に対する認識が乏しく、危険を回避する能力が未熟です。家族など周囲の人が、過去にどのような事故が発生しているかを知り、事前に対策をとることで、重大な事故から子どもを守りましょう。

## 窓やベランダから「落ちる」



## 窓やベランダからの落ちる事故を防ぐために

- 窓際やベランダには、子どもが登れるようなものを置かない。
- 1. エアコンの室外機、植木鉢などを置く場所にも注意しましょう。
- 2. ベランダへの出入口の窓などには、鍵を二重に設ける等の措置を講じましょう。
- ◆ 窓際では、ソファーや室内用ジャングルジムを足場にすると推定される事故も発生しています。
- ◆ 子どもは日々成長し、行動範囲が広がっていきます。昨日上れなかった場所に、今日は上っているかもしれません。

## こんな事故が起きています！

## 【事例】出窓から墜落

自宅4階にて親が目を離した際に、1歳の男児が椅子を使って出窓から景色を眺めており、その後網戸を突き破り地上に墜落した。

## ものがつまる等

6か月になったら、何でも口に入れたがる傾向があります。

窒息は放置すれば死に至る危険な事故です。



## 窒息や誤飲を防ぐために

- 家の中は、子どもの目の高さで危険がないかチェックする。（誤飲する可能性があるものを、子どもの手の届くところに置かない）
- 灯油、ボタン電池など、誤って飲み込んだ時に危険性の高いものは何かを知っておく。
- 食べ物は、年齢に応じた大きさや形にして食べさせる。食事中びっくりさせない。

## こんな事故が起きています！

## 【事例】ビー玉を誤飲事故

3歳の女兒は、自宅にてビー玉で遊んでいたところ誤って飲み込んでしまい、両親が除去しようとしたが取れなかったため救急要請した。

## ▼問い合わせ

丹羽広域事務組合 消防本部 予防課  
☎（95）5158